

平成29年10月31日(火)

台風第22号の降雨に伴う^{やぎさわ}矢木沢ダム・^{ならまた}奈良俣ダム・^{ふじわら}藤原ダム
による^{ぼうさいそうさ}防災操作(洪水調節)について

利根川上流に位置する矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム3ダムでは、台風22号に伴う降雨により増加した河川の水をダムに貯め込むことで、下流河川の水位の低減を図りました。

今回の台風22号では、先週末の台風21号同様、矢木沢、奈良俣の2ダムを中心に貯め込み操作を行い、藤原ダムでは、引き続き上流2ダムの防災操作状況及び下流河川の流況監視しながら、必要な洪水調節容量の確保に努めました。

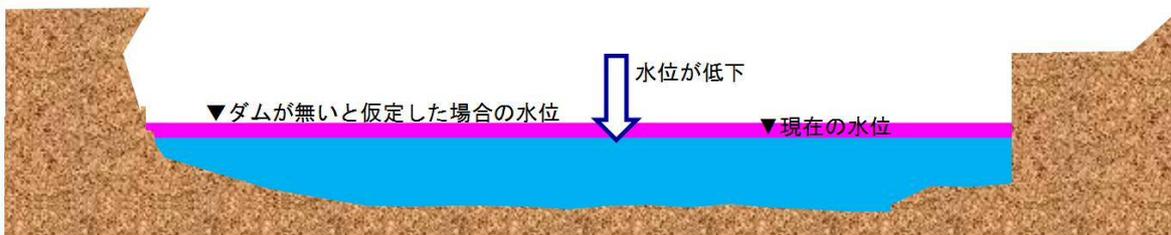
これにより、下流の群馬県みなかみ町湯原地点の河川の水位を約90cm(推定)低下させることができました。

	矢木沢ダム	奈良俣ダム	藤原ダム
流域総雨量	79 ミリ (10/28 17:00~10/30 10:00)	63 ミリ (10/28 18:00~10/30 10:00)	74 ミリ (10/28 17:00~10/30 10:00)
最大流入量	230 立方 ^{メートル} (10/30 2:40)	31 立方 ^{メートル} (10/29 20:10)	122 立方 ^{メートル} (10/30 5:20)
最大放流量	42 立方 ^{メートル}	10 立方 ^{メートル}	133 立方 ^{メートル}
ダムの貯留量 ※	288 万立方 ^{メートル} (洪水量 100m ³ /s)	— 万立方 ^{メートル} (洪水量 80m ³ /s)	— 立方 ^{メートル} (洪水量 520m ³ /s)

※「ダムの貯留量」は、ダムへの流入量が各ダムの洪水量(ダム下流河川の河道内を安全に流下できる量としてダム毎に設定した量)を超えた時間にダムに貯め込んだ量のみを示しています。



矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダムで貯留することにより、下流の湯原地点の水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、約90cm水位を低下させたと想定されます。



ダム群により想定される水位の低減 (湯原地点)

利根川 湯原地点(水位低下イメージ)

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、各ダム地点の貯留量の合計を ダム下流の利根川湯原地先の水位低減量に換算しています。

※図はダム等の状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。

※平成29年10月31 日現在の速報値であり、数値等は今後変わることがあります。